



東地中海地域ニュース

エジプト：第57回革命記念式典でのムバラク大統領の演説（7月23日 現地各紙）

7月23日付現地各紙によれば、7月22日に開催された第57回革命記念式典にて、ムバラク大統領が行った演説の概要は、以下の通りである。

1. エジプトの役割・立場

(1) エジプトは、中東アフリカや地中海での様々な活動において、世界規模での途上国間や非同盟諸国間において、影響力のある役割を有していたし、今後もそうあり続ける。

(2) 7月革命は、我々の現代史における転換点であり、独立、自由、国民主義、より良い生活への国民の期待を表現していた。この57年間、エジプトは国内及びエジプトを囲む地域・世界において、多くの変化を目撃してきたが、より良い明日へ向かう為の歩みを続けるエジプト国民の可能性、その一体性を実現するという国民の意識に変化はなく、今後も変わることはない。

(3) エジプトは、ムスリム、コプト教徒、労働者、農民、中層階級、有識者とともに、軍事力、経済、歴史、民主主義、社会的団結力が十分に満ち溢れた国であり続けるであろう。

2. 中東和平

(1) 中東の安定は、エジプトにとって発展と成長の基盤であり、国家安全保障の為に求められているものである。

(2) パレスチナ問題は、公平かつ包括的な平和実現の鍵であり、地域の安全と安定の実現を保証するものである。この問題は、エジプト人の心に中に存在し続ける。我々は、パレスチナ人の為に努力を続け、国際的・地域的な主要関係国との連絡を続けていく。

3. 内政・外政

(1) 過去数年間で、様々な困難にもかかわらず、我々は大きな経済成長を実現した。引き続き、経済・社会改革政策を継続させ、民主主義の柱を完成させる努力をする。

(2) 我々は、地域的・国際的分野での活発で実効的な活動を通じて、エジプト国内の問題への支援に努める。又、アラブ・アフリカの同胞国達との協力を強化し、ヨーロッパや地中海地域とも関係を拡大させる。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799